

小学生のための 国際理解体験

8月26日に、「いろいろな国のいろいろな遊びを知り、自分と世界のつながりを意識すること」を目的に、小学校低学年を対象とした国際理解体験ワークショップを開催しました。参加者数は、18名でした。

ワークショップは、「中国のじゃんけんをしてみよう」から始まりました。中国からの留学生に教えてもらいながら楽しく遊びました。次に「世界のコマをまわしてみよう」では、トルコ、スペイン、インドネシア、メキシコ、タイのコマの回し方をみんなで考えました。同じコマでもその方法はなかなかわかりません。そして、試行錯誤の結果、やっと回すことが出来た時のみんなの顔はとても生き生きとしていました。そして、世界にはいろいろな国があっても子どもの遊びはどこか似ている事を学び、地図を使ってその場所を確認する活動という流れで行いました。

ワークショップの後に空き缶やボール紙を使って、インドネシアのコマを作りました。なかなか回すことができないコマもなかなかまわらないコマもありましたが、全員のコマがまわりました。最後まで頑張っているすがた、素晴らしいと感じました。空き缶にシールをはったり、色々なマーカーなどで空き缶を飾ってみんなすてきなコマができました。最後にけん玉をつくる材料をおみやげに終了しました。

遊びを通して、世界にはいろいろな国があること、でも子どもたちはみんな同じ遊びで楽しんでいることを学びました。



国が違えばじゃんけんも違います



コマを作りました



みんな楽しい時間を過ごしました

ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで (詳細▶5面)



KOKUSAI インタビュー

ジャスティン シルバさん

Q お国はどちらですか？

アメリカ・フロリダです。今年の3月に日本に来ました。日本語はアメリカで少しだけ勉強しました。日本へは新しい生活と新しい仕事をするために来ました。

Q 日本の好きなところは？

とても安全なところですよ。びっくりします。それとお店の人がとても親切でサービスがいいところですよ。日本の人はみんな親切ですよ。

Q びっくりしたことは？

道路など、外にゴミ箱が少ないところですよ。それなのに、ゴミが落ちていないんですね。びっくりですよ。フロリダはゴミ箱がたくさんあります。

Q 日本でどこか旅行しましたか？

沖縄、佐賀、京都に行きました。沖縄はとても暑くて、すごい雨が降りました。あとは覚えていません。佐賀は仕事で行ったのですが、温泉にはいりました。京都はお寺や神社がたくさんあって、とてもきれいでした。

Q これから行きたいところは？

北海道へ行きたいです。とてもきれいで、シーフードやじゃがいもなどおいしいものがたくさんあります。

Q 日本の食べ物はどうですか？

おいしいです。ラーメンやうどんなど。特に味噌カツは大好きです。おいしいです。アメリカはアップルパイだけです。

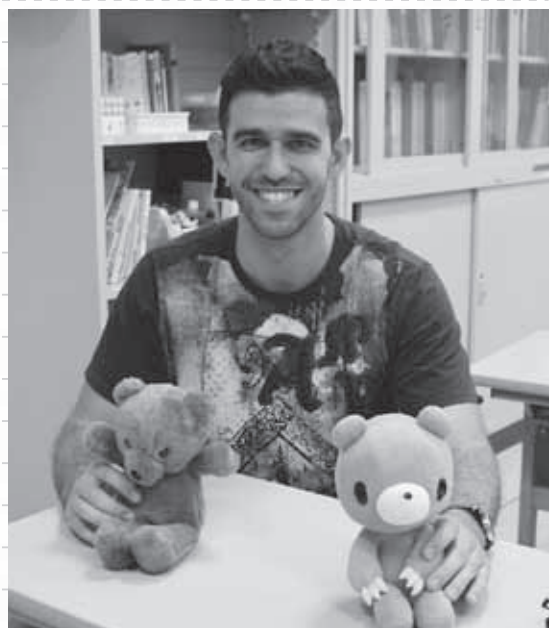
Q 最近、引っ越しされたそうですね。

はい、おとといシェアハウスに引っ越ししました。30人くらいで住んでいます。とても大きくてきれいです。ルームメイトの日本人はとても親切ですよ。昨日の夜、ダイニングで5～6人の人と日本語で話しました。とても楽しくて、うれしかったです。今度、勤務先で日本語のスピーチをします。緊張しています。

Q それは頑張ってくださいね。最後にお国の良いところを教えてください。

フロリダは海・海岸がとてもきれいです。海岸で友達とフリスビーをよくしました。

ありがとうございました。シェアハウスでの生活を楽しんでください。それから、ぜひ、フロリダに行ってフリスビーをしたいですね。



笑顔が印象的なジャスティンさん▶

毎年開催してきました“夏休みキッズえいご”、今年で12年目をむかえることになりました。家庭での英語に対する関心も高まっているからだと思います。

参加してくれる子どもたちも、毎年楽しみに来てくれる子、初めての英語に緊張しながら参加する子と様々な顔ぶれです。

対象学年は、小1～4年生です。1～2年生のA・Bコース、小3～4年生のC・Dコースというクラス分けです。

講師の陽田先生は、「英語嫌いにならないこと、英語に慣れ親しむこと、とにかく楽しさを感じることを、コミュニケーションをとること」を基本に子どもたちと接してくれています。楽しい歌からはじまり、じゃんけんや大会、身の回りにある英単語を答えさせる時も

クイズ形式で質問し、正解したらみんなで拍手し褒めてあげていました。また、カードを使っのプログラムでは、より子どもたちが興味をもって参加していて、やる気がどんどん上がっていくのが感じられました。そのおかげか、最初は恥ずかしがっていた子どもたちが、2日間で積極的に手を挙げて話したり答えたりしている姿がみられ、とても楽しそうでした。子どもたちの英語への興味も深まったことと思います。

これからの時代、様々な国の人とコミュニケーションをとる機会が出てくるでしょうが、このような機会を積極的に利用することにより子どもたちがよりスムーズに異文化に触れることが出来るようになるのではないのでしょうか。

事務局 小川



▲楽しく英語を体験できました。



積極的に参加する子どもたち。

日本で初めて、パラバドミントンの国際大会が行われ、世界28カ国から多くの参加選手があつまり、毎日白熱した試合が繰り広げられました。

町田国際交流センターでは、参加選手のための通訳ボランティアとして協力いたしました。

5日間にわたり、館内の案内やレストラン、イベントでの通訳など多くの場面で活躍しました。

ご協力いただいた通訳ボランティアの方にお話を伺いました。

日本で初の世界大会。期待先行で、通訳ボランティアに参加しました。試合を控えた選手の表情は硬く、片言のイタリア語やオランダ語で話しかけて、会話に成功することもありました。そんな雰囲気の中、茶道と生花コーナーは場を和ませるイベントでした。通訳

や説明にも力が入りますが、予習不足が悔まれます。このような大会は、世界のトップアスリートと話しが出来る貴重な機会。次回は皆さんも参加してみませんか。

広報部会 戸田 隆

今回の大会にはアジア・ヨーロッパなど28の国々から260名の選手の参加があり、会場は障害者スポーツであることを感じさせない激しい戦いで、大変な熱気に包まれていました。

この大会にボランティアとして参加する目的は、海外から町田にお越しの選手団の方々に、「おもてなし」の一環として言語のストレスを少しでも軽減することでした。

具体的な活動内容は、体育館内のレストランでの対応がメインとなりました。通訳だけではなく、ご飯をしゃもじでよそいづらそうな時など、選手が何か困っている時にお手伝いをしました。当初は通訳のボラン

ティア目的で参加しましたが、自然とそのようなサポートも行われていました。

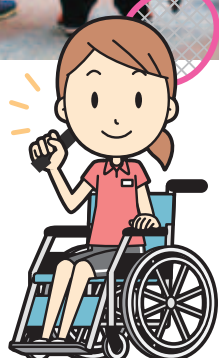
「ビュッフェにないものを提供してほしい」といった要望も選手からあり、希望に添えずに心苦しく思うこともありましたが、レストランスタッフと連携し、できる限り選手が満足できるように皆で努力しました。最後にレストランの方々からも「とても助かりました」とのお礼のお言葉もいただき、無事に終了しました。今回初めての開催で、大変貴重な経験になりました。反省点や改善が必要なこともいろいろと出てきましたが、今後に活かしていけたらと思います。

相談部会 / 国際理解部会 渡辺 直子



◀ 集合場所の後が通訳ボランティアの待機場所でした。

▼ 各国の選手が集まりました。



子ども山車巡行（町田天満宮秋季例大祭）

9月25日(日) 小田急町田カリヨン広場

日本伝統文化の紹介イベントとして、今年も町内会「原町田六生会」主催の「子ども山車巡行」が開催されました。町田国際交流センターでは、毎年外国人の参加者を募集し、国際交流部会ボランティアの協力のもと、参加者にお祭りを楽しんでいただいています。当日は子ども19名とその保護者、スタッフ16名で参加しました。（参加者の国籍：中国、フィリピン、バングラデシュ、^{はっぴ}インド、韓国、台湾、日本）

子どもたちは法被を身にまとい、太鼓に合わせて「わっしょい！」のかけ声を響かせて、山車を力一杯

引っ張りました。途中の休憩地点では、商店街の皆様からご好意のお菓子や飲み物を頂きながら、地域の方々や参加者同士の交流を深めました。また周囲では威勢の良い声と共に大人たちによる神輿が巡り、町田駅周辺が活気に溢れていました。

交流部会として、日頃から地域の方々のとの繋がりを大切に、今後も地域イベントでの交流や伝統文化体験の場を提供していきたいと思います。

交流部会 市岡 麻純



好天に恵まれ、楽しいお祭りとなりました。



町中大賑わいです。



伝統芸能の公演もありました。

英語落語

10月1日(日) 町田市民フォーラム3F ホール

ー「英語で落語大丈夫なの？」ー

町田国際交流センターでは町田市と共催で、立川志の春さんを迎え初めての「英語落語」を開催しました。

当日は、120名を超えるお客様が来場され、20名のお客様が外国人の方々でした。

笑いは世界の共通語と言われていますが、日本の伝統文化の一つである落語を英語で、笑えるのか、理解できるのかと心配で当日を迎えました。

しかし、その心配は杞憂でした。来場されたお客様の笑いの渦、客席と高座が一体となり時が進み、気がつけば終演の追い出し太鼓が鳴り、盛大な拍手の嵐でした。

落語は江戸時代に日本で確立し、現在まで傳承されている伝統芸能です。

落語は、セリフだけではなく、手振り、身振り、演者の表情、所作などで物語を聞き手に

伝えるものだと感じました。

要するに、「リズム」、「テンポ」、「間」で聞き手を引き付けるものだと感じました。

当日の演目は、「転失気」、「寿限無」、「動物園」の三席でしたが、どれも聞き手を魅了しました。日本語での落語も、英語での落語も話芸を極めていけば変わらないと痛感しました。

ここで、高座を務めていただいた立川志の春さんについて、ご紹介したいと思います。

志の春さんは、米国イエール大学卒業後、三井物産に3年半勤務し、2002年10月に立川志の輔門下に入門し、現在、二つ目で活躍されております。

町田国際交流センターでは、今後も、日本の伝統文化を外国人や日本人に紹介する事業を進めていく考えです。

事務局 足立



写真では普通の落語に見えますが、実は英語です。

編集後記

日照不足など気候が安定しなかった夏も終わり、日に日に涼しく(寒く?) なくなりました。「ぼろんていえ」は気持ちも新たに101号を迎えました。

天高く馬肥える秋、食欲の秋です。秋刀魚や栗、マツタケなどなどおいしいものがスーパーの店頭に並びます。なぜ秋になると食欲が増すのでしょうか？暑さによる夏バテで食欲もなくなり疲れてしまった体に気温も涼しくなり本来の食欲に戻るのでしょうか。何はともあれ、実りの秋でもあるわけでおいしいものに我慢ができません。大いに食べようかな!! 体重をちょっぴり気にしながら。

荒 明

生涯学習センター・昭和薬科大学共催講演会 「健全に病むということ…分の感覚と懐疑心を大切に」

NPO健康と病いの語りディベックス・ジャパン理事長 別府 宏圀 氏

「あなたは薬のことをどれくらい知っていますか？」 ー医薬品の情報を使いこなそう！ー

昭和薬科大学医療品情報部門教授 山本美智子 氏

「インフォームド・コンセント」、「患者の自己決定権」、「患者中心の医療」などの言葉を耳にするようになって久しいですが、本当にそれらを実現するためにはどうすればいいのか、一緒に考えてみませんか。

【講 師】別府 宏圀 氏 (NPO健康と病いの語りディベックス・ジャパン理事長)
山本美智子 氏 (昭和薬科大学医療品情報部門教授)

【日 時】12月2日 (土) 14:00 ~ 16:00 (13:30開場)

【会 場】市民フォーラム 3階 ホール (町田市原町田4-9-8)

【対 象】どなたでも 【定 員】188名 (申込順)

【費 用】無料

【申 込】11月8日 (水) 正午~電話で町田市イベントダイヤル (042-724-5656) へ。
または町田市ホームページのイベント申込システム「イベシス」での申込
(イベントコード 171108-A)。



別府 宏圀



山本美智子

問い合わせ

町田市生涯学習センター

〒194-0013 町田市原町田 6-8-1 TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073

休館日 毎月第4月曜日 (祝日の場合は翌日) および年末年始 (12月29日~1月3日)



ホームページをご覧ください!!

アドレス <http://www.machida-kokusai.jp>

新しい情報がいっぱい!!

町田国際交流センターのホームページでは、センターが開催する講演会や外国人向けの相談会のお知らせのほか最新の情報を提供しています。

また外国語版のページでは、「日本語教室」など、外国人の方々が地域で暮らすのに必要な情報を英語で提供しています。

今後も楽しいコンテンツづくりを目指していきます。是非、ご活用下さい。

(財)町田市文化・国際交流財団
町田国際交流センター

〒194-0013 東京都町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F
TEL 042(722)4260 FAX 042(722)5330

<http://www.machida-kokusai.jp>
E-mail: info@machida-kokusai.jp

事務局からのご案内・募集

第15回 留学生トークプラザ

留学生の思いを聞いてみませんか ～留学生による意見発表会～



留学生から出された「市民との交流の場が欲しい」との要望から始まった留学生による意見発表会は今年、第15回を迎えました。毎回、留学生のすばらしい日本語と、異なる視点からの鋭い観察力と主張に驚かされます。今年も町田市内及び近隣の大学で勉強している留学生に、日本の印象、日々の勉強、将来の夢、日常生活を通して体験したことなどを日本語で発表して頂きます。

発表終了後、留学生との意見交換の時間を用意しています。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

■日 時：11月12日(日) 14:00～17:00 (開場 13:30)

■会場：町田市立中央図書館 6階ホール (住所：町田市原町田3-2-9) ■参加費：無料

■申込：①住所 ②氏名 ③電話番号 ④参加人数 をご記入ください。

はがき／〒194-0013 町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4階 町田国際交流センター宛

FAX／FAX 042-722-5330

ホームページ／www.machida-kokusai.jp

受付確認のお知らせはお送り致しません。

直接会場へおいでください。

■主催：一般財団法人町田市文化・国際交流財団

町田国際交流センター

(担当：国際理解部会) TEL 042-722-4260

■後援：町田市



小学生のための国際理解体験 いろいろな国の人とふれあおう — 見知らぬ国で大冒険 —



ある日、みなさんが乗っていた船が難破し、とある島に流れ着きました。そこは言葉も文化も異なる世界。みなさんはその世界で必要なアイテムを手に入れ、自分の国に帰らなければいけません。さあ、新たな旅の始まりです。(ゲーム形式で町田地域の留学生たちとコミュニケーションをとり、国際的な感覚を身に着ける体験です。)

■日 時：12月26日(火) 13:30～16:00

■会場：町田市民フォーラム4階 国際交流センター講習室

■定員：20名 ■参加費：300円 ■対象：小学4～6年生

■お申込み方法：往復ハガキに氏名、ふりがな、学校名、学年、保護者名、住所、電話番号を記載して、

〒194-0013 町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F

町田国際交流センター「小学生の国際理解」係まで
お申し込みください。

12月11日必着。申込多数の場合は抽選。

■主催・お問合せ：町田国際交流センター

TEL：042-722-4260 (担当：国際理解部会)

